

運転の内容

もっと詳しく

ハウスキープ

加湿運転後、不要になった湿気を取り除くために除湿運転を行います。

- お部屋に人がいないときにご使用されることをおすすめします。

■ ハウスキープ

運転ランプ 橙→黄

■ 運転モード



自動になります

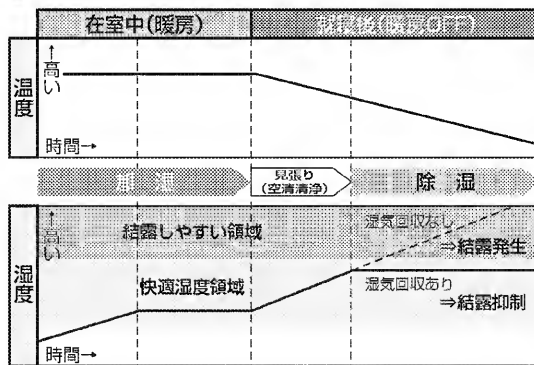
水タンクに入れる水の量は、水タンクの表示にしたがってください。(▶17ページ)

<おすすめ時期>
結露が気になる季節に

湿度を見張って湿気回収

- 就寝後、室内温度が下がって相対湿度が上昇し、結露が発生しやすい状況になると、自動的に除湿運転を開始します。
- 相対湿度が上昇しない場合は、除湿運転に入りません。
- 除湿運転後は加湿運転を行いません。加湿運転を行う場合は、水タンクの水を交換してから、水交換リセットボタンを押して運転してください。
- 除湿運転していても外気に面した窓ガラスや風通しの悪い場所(家具の裏側など)は結露したりカビが発生することがあります。
- 除湿運転中はヒーターを使用するので、室内温度が上昇することがあります。(▶6ページ)

■ ハウスキープの運転イメージ



水de脱臭

加湿運転と除湿運転を自動で切り換えて、お部屋にしみ付いたニオイをしっかり取り除きます。

- お部屋に人がいないときにご使用されることをおすすめします。

■ 水 de 脱臭

運転ランプ 橙→黄

■ 運転モード



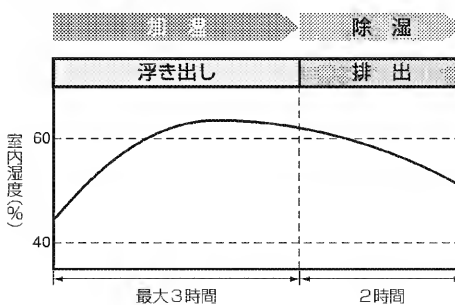
「強」または「ターボ」を選ぶ

水タンクに入れる水の量のめやすは、ハウスキープ運転給水位置です。(▶17ページ)

<おすすめ時期>
オールシーズン

- 壁(布)の中にしみ付いたニオイをお部屋の湿度を高くすることで浮き出させ、出てきたニオイを湿気と一緒に取り除きます。
- 水de脱臭運転を開始してから最大約5時間運転します。水de脱臭運転を開始してから約3時間後に「加湿」から「除湿」に切り換わります。
- お部屋の環境によりニオイを浮き出させる時間が異なる場合があります。
- 除湿運転中はヒーターを使用するので、室内温度が上昇することがあります。(▶6ページ)

■ 水de脱臭の運転イメージ



お手入れ早見表



警告

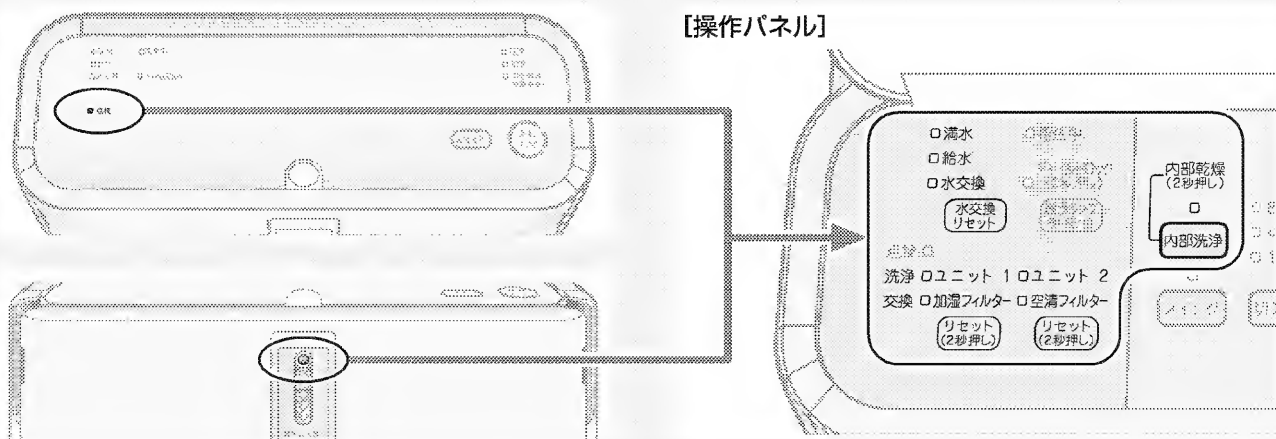
お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。
(感電やけがの原因)

お手入れの際の各部品の取外しは、数字の順番に行ってください。

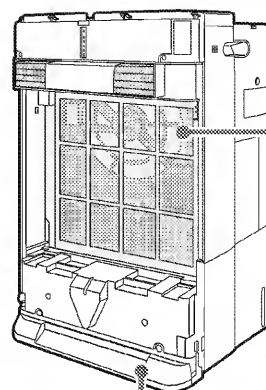
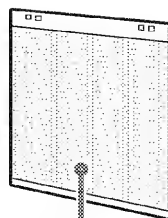
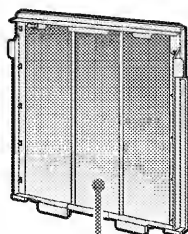
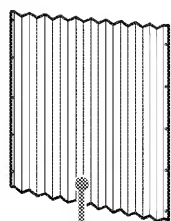
1 前面パネル	2 プレフィルター	3 ユニット1 (プラスマイオン化部)	4 ユニット2 (スチームユニット)
<p>汚れの気になるときに</p> <p>ふき取り</p> <p>▶28ページ</p>	<p>2週間に1度</p> <p>掃除機 水洗い</p> <p>▶30ページ</p>	<p>「ユニット1」ランプが点灯したら</p> <p>つけおき ふき取り</p> <p>▶32, 33ページ</p>	<p>約3ヵ月に1度または「ユニット2」ランプが点灯したら</p> <p>つけおき ふき取り</p> <p>▶32, 33ページ</p>

点検ランプまたはおしらせランプが点灯したら、操作パネルでお手入れ箇所を確認してください。

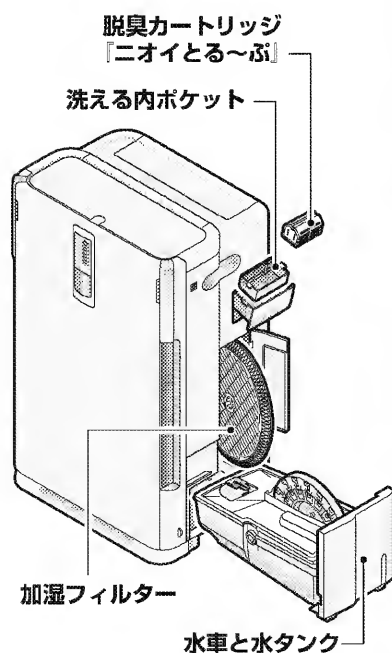
- 加湿フィルターランプ、空清フィルターランプ、ユニット1・2ランプ、満水、給水、水交換ランプ、内部洗浄／乾燥ランプのいずれかが点灯・点滅しています。(満水、給水、水交換ランプ点灯時、点検ランプは点灯しません。)



各部のお手入れのしかたは
▶28～40ページを参照してください。



5 空清フィルター (フリーツフィルター)	6 脱臭触媒 ユニット	7 バイオ抗体 フィルター	本体・センサー用 空気取入れ口
 「空清フィルター」ランプが 点灯または点滅したら 交換 ▶34ページ	 汚れの気になるとき 掃除機 水洗い不可 ▶29ページ	 別売品 開封後約1年で 交換 ▶16ページ	 センサー用空気取入れ口 ホコリなどがたまったら 掃除機 ふき取り ▶28ページ

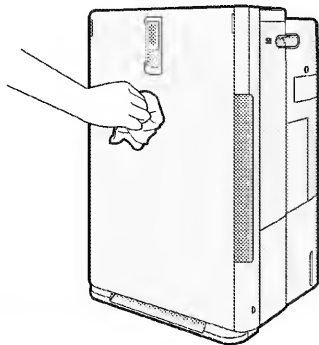


<p>脱臭カートリッジ 「ニオイとる～ぶ」</p> 洗剤不可 汚れやホコリなどがたまったら 掃除機 つけ置き ▶29ページ	<p>洗える内ポケット</p> 汚れの気になるとき 水洗い ▶29ページ	<p>本体内部</p> 内部洗浄／乾燥ランプが 点滅したら 内部洗浄運転 ▶38, 39ページ 加湿運転や除湿運転の後に 内部乾燥運転 ▶40ページ
<p>加湿フィルター</p> 1ヵ月に1度 またはニオイや汚れが気になるとき つけ置き ▶36ページ 「加湿フィルター」ランプが点灯または点滅 したら交換してください。▶37ページ	<p>水車と水タンク</p> 1ヵ月に1度 またはニオイや汚れが 気になるとき 水洗い ▶35ページ	

各部のお手入れ

前面パネルの掃除 ふき取り

- 水で湿らせた布またはティッシュなどで汚れをふき取ってください。
- 汚れがひどいときは液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。
(洗剤が残らないようふき取ってください。)



**硬いタワシなど
を使用しない**

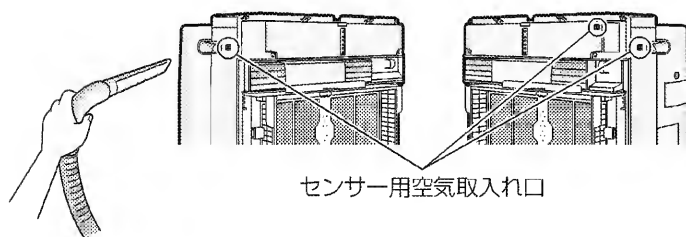
傷の原因になることがあります。

警告

- ガソリン、ベンジン、シンナー、ミガキ粉、灯油、アルコールなどは使用しない。
(ひび割れ・感電・引火の原因)
- 本体を水洗いしない。
(感電や火災・故障の原因)

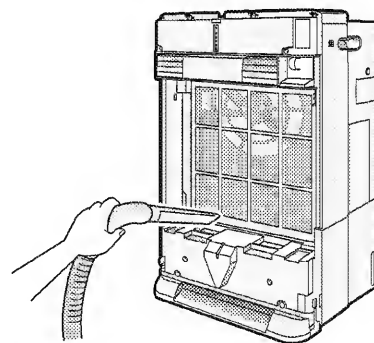
センサー用空気取入れ口の掃除 掃除機

- 掃除機のすきま用ノズルなどを使用して、センサー用空気取入れ口に付着したホコリを吸い取ってください。



本体の掃除 掃除機 ふき取り

- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取ってください。
- 本体は水で湿らせた布またはティッシュで汚れをふき取ってください。
- 汚れがひどいときは液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。
(洗剤が残らないようふき取ってください。)

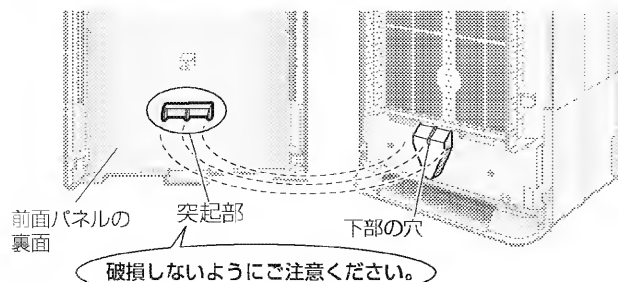


お願い

- 取り外した前面パネルは、表面が傷付いたり、裏面の突起部が破損しないように注意してください。

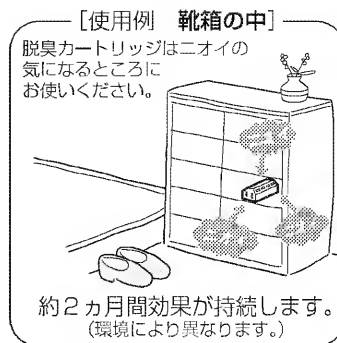
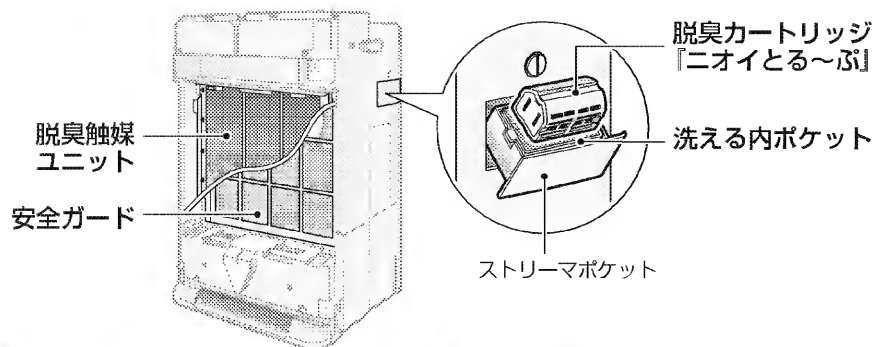
裏面の突起部は、パネルを開くと電源が「切」になる安全スイッチの役目をしています。

破損しますと、運転ができなくなりますのでご注意ください。



警告

- 本体下部の穴の奥には触れない。
(感電のおそれ)
- 誤って破損し、運転できなくなった場合は、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。▶49ページ



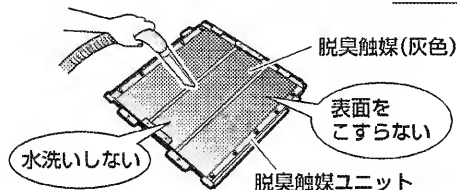
脱臭触媒ユニットの掃除

掃除機

水洗い不可

交換不要

- 脱臭触媒ユニットを外して掃除機でホコリを吸い取ってください。
- 脱臭フィルター(灰色の部品)の表面をこすらないでください。
- 脱臭触媒ユニットの取外し・取付けには、「フィルターを取り付ける」を参照してください。▶15, 16ページ
- 脱臭触媒ユニットの枠(青色の部品)の汚れが気になる場合は、水で湿らせた布またはティッシュなどでふき取ってください。汚れがひどいときは、液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。(洗剤が残らないようふき取ってください。)
- ニオイが気になる場合は、表面を霧吹きなどで軽く湿らせてから風通しのよい日陰で乾燥させてください。(約1日)



水洗いしない

水洗いすると型くずれして使用できなくなります。



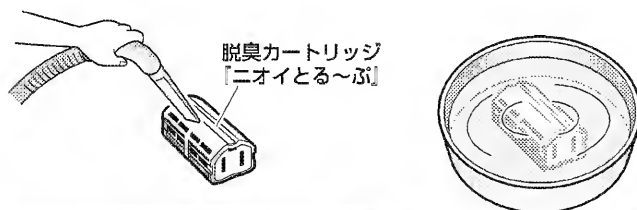
脱臭カートリッジ『ニオイとる〜ぶ』の掃除

掃除機

つけ置き

洗剤不可

- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取ります。
- 脱臭カートリッジの汚れが気になる場合は、ぬるま湯または水につけ置きし(約10分)、水気を切り、風通しのよい日陰で乾燥させます(約1日)。



⚠ 注意

- 脱臭カートリッジ『ニオイとる〜ぶ』は分解しないでください。
- 洗剤、薬品などは使用しないでください。(脱臭能力が低下します。)

洗える内ポケットの掃除

水洗い

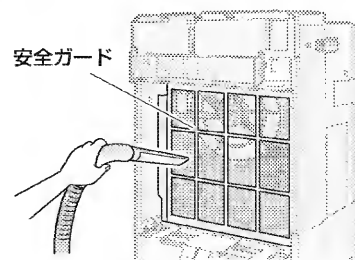
安全ガードの掃除

掃除機

- 洗える内ポケットは取り外して洗うことができます。
- 汚れが気になるときや、設置場所の異なる脱臭カートリッジを再生するときは水洗いしてください。
- 汚れがひどいときは、やわらかいブラシや液体中性洗剤を使って洗い、洗剤が残らないように十分すすぎ洗いをしてから風通しのよい日陰でよく乾かしてください。



- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取ります。



⚠ 注意

安全ガードは外さない。
(感電・けがの原因)

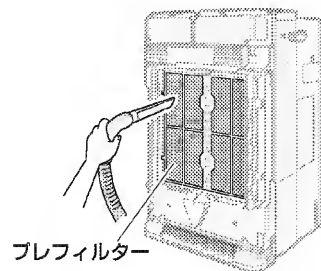
各部のお手入れ

プレフィルターの掃除 掃除機 水洗い (2週間に1度がめやす)

1 前面パネルを外す。▶15ページ

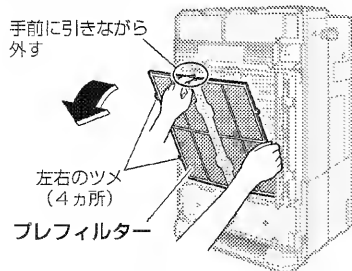
2 プレフィルターの掃除する。

- 掃除機でホコリを吸い取る。

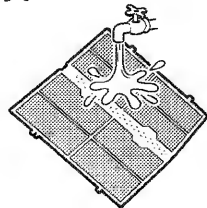


3 汚れがひどいとき プレフィルターを水洗いする。

- プレフィルターの上部の凹部に指を引っかけて手前に引き、プレフィルターの左右のツメ(4カ所)をユニット1の左右の穴(4カ所)から外す。



- やわらかいブラシや液体中性洗剤を使って洗い、洗剤が残らないように十分すすぎ洗いをしてから日陰でよく乾かす。

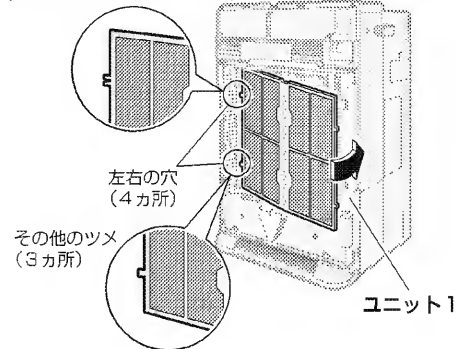


水滴が残っていると「ユニット1」ランプが点灯する場合がありますので、十分に乾かしてからご使用ください。

4 プレフィルターを取り付ける。

- プレフィルターの左右のツメ(4カ所)をユニット1の左右の穴(4カ所)に合わせて差し込む。

左上のツメ(1カ所)
(左上だけ形状が異なります。)



5 前面パネルを取り付ける。▶16ページ

前面パネルが正しく装着されていないと安全スイッチが作動し、運転しない場合があります。▶28ページ

ユニット1(プラズマイオン化部)の取外し・取付け

⚠ 注意

対向極板の取外し、取付けの際は**ゴム手袋**を使用してください。対向極板、イオン化線で手を切るおそれがあります。

取外し

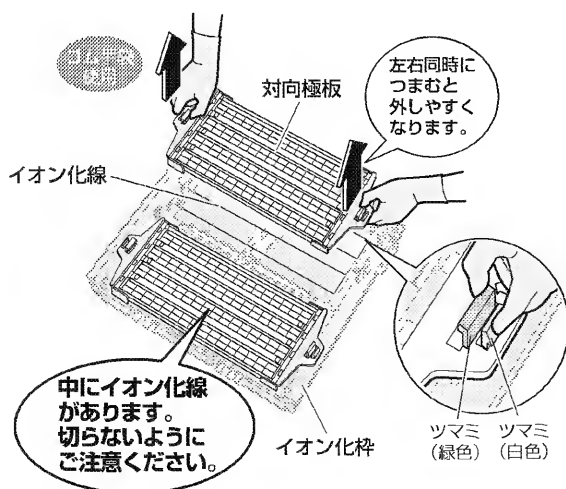
1 前面パネルを外す。▶15ページ

2 プレフィルターを外す。▶30ページ

3 ユニット1を外す。▶15ページ

4 ユニット1の裏側にある対向極板を外す。

- 白色と緑色のツマミ部(左右2カ所)を同時につまんで、対向極板を持ち上げて外す。

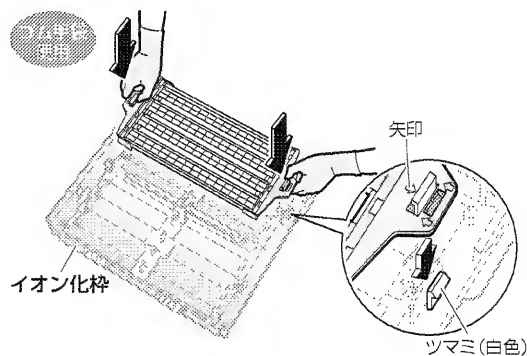


取付け

1 対向極板を取り付ける。

- ① イオン化枠のツマミ(左右2カ所)に対向極板を差し込む。

対向極板には上下・左右の区別はありません。矢印が見える状態で取り付けてください。



- ② 「カチッ」と音がするまで確実に押し込む。
- ③ もう片方の対向極板も取り付ける。

2 ユニット1を取り付ける。▶16ページ

3 プレフィルターを取り付ける。▶30ページ

4 前面パネルを取り付ける。▶16ページ

各部のお手入れ

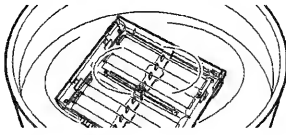
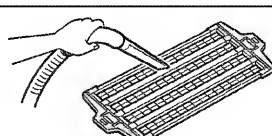
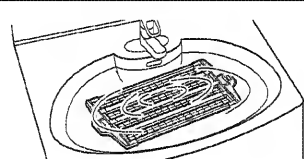
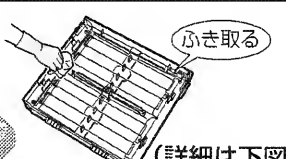
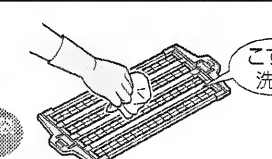
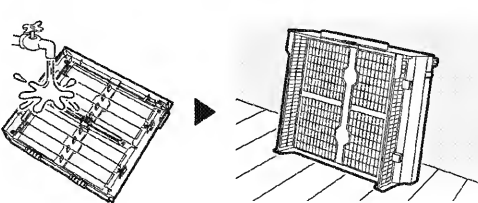
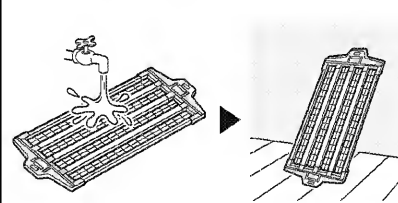
ユニット1(プラズマイオン化部)・ユニット2(ストリーマユニット)の掃除

お手入れのめやす	洗浄 ■ユニット 1 ■ユニット 2 ユニット1:「ユニット1」ランプが点灯したら ユニット2:約3カ月に1度または 「ユニット2」ランプが点灯したら
お手入れのしかた	つけおき ふき取り

汚れが気になる場合は、「ユニット1・2」ランプが点灯していなくてもお手入れしてください。

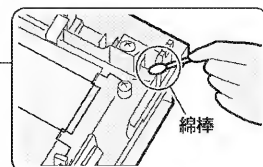
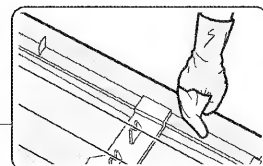
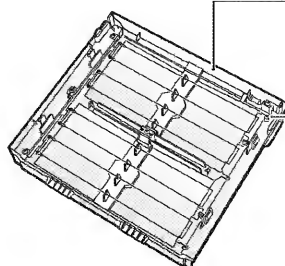
⚠ 注意

- お手入れの前には必ず運転を停止して電源プラグを抜いてください。
- ふき取りやこすり洗いの際は、**ゴム手袋**を使用してください。対向極板、イオン化線、ストリーマユニットの針で手を切るおそれがあります。

内容	ユニット1		
	① イオン化枠	② イオン化線	③ 対向極板
各部品を取り外す。	▶31ページ		▶31ページ
掃除機などで表面のホコリを吸い取る。			
ぬるま湯または水につけおきする。 (約1時間)			
布またはやわらかいブラシなどで汚れを落とす。 ゴム手袋を使用してください。	 汚れを落とす	 こすり洗い	
流水ですすぎ水気を切る。			
風通しのよい日陰で乾燥させる。 (約1日)			
各部品を取り付ける。	▶31ページ		▶31ページ

① イオン化枠(つけおき後、乾燥する前に行ってください。)

- やわらかい布で樹脂部の汚れを落としてください。
- 凹凸があり指が入りにくい部分は綿棒などで汚れをふき取ってください。
- 布などのせんいクズが残らないようにしてください。
誤作動の原因になります。



凹凸がある部分は綿棒などで汚れをふき取ってください。